

平成28年度教員の教育力向上のための授業改善研修会 発表会報告

発表者 安部 定

公開授業（分野）：現代美術論（共通科目）

対象学年（履修区分）：3・4年生（選択必修）

公開日時：平成28年 11月 29日（火） 4限

■ 公開した授業の当該科目全体における位置づけ・進め方や工夫した点

「現代美術論」第9回目「ボイスとコンセプチュアルアート」の授業を公開した。

ガイダンス時にキーワードとして^{*}「Zeitgeist」展の話と^{*}「ヨハネによる福音書第1節～5節」を紹介し、当日は、これらが本講義全体に対する問いかけから始まっていることを開始時に伝え、特に第9回目の講義に強くつながっていることを伝え当該講義の内容に入る。

私の講義では、授業開始時もしくは終了時にショートレポートの課題を与え、授業への導入と、興味及び参加意識を高める効果と活用している。なお、ガイダンスで伝えた「Zeitgeist＝時代精神」は、本講義全体に通底する概念として掲げており、また、最終講義の設問においても、「あなたが感じる現代の時代精神（Zeitgeist）とは？」で締めくくっている。

公開した第9回目は、まさにドイツが再統合する1991年前後3年を過ごしたドイツと、ドイツのアートについて、当地での経験談も交え、象徴的存在となるJ・ボイスを中心に、1960年代から70年代にかけて世界規模で巻き起こったコンセプチュアルアートのムーブメントについて紹介した。

^{*}「Zeitgeist＝ツァイトガイスト(時代精神)」

私が観たのは1989年に旧ベルリン中央駅駅舎で行われた者で、1982年にベルリンのマルティン・グロピウス・パウで開催された同展の当時版として焼き直されたものだった。

^{*}「ヨハネによる福音書第1節～5節」は、「始めに言ありき・・・」で始まる有名な一節で、福音書における神のコンセプトとして紹介している。

■ 参観者や研修会での意見交換を踏まえ、次年度への改善計画等

- ・ パソコン内で画像を探す時間が多すぎ
- ・ 必要な You Tube 動画は事前にダウンロードしても良いのでは
- ・ 留学されていた経験談はとて説得力があり興味をかき立てられます
- ・ 冒頭で3作品の画像を見せて学生に感想を書かせ、それを出席のアイコンにするアイデアは良かった

○資料の整理と、You Tube 動画のダウンロードを行い時間のロスを少なくしたい。

■ その他

特になし

資料：

■ 当日授業前ショートレポートとして提示した課題

ショートレポート兼聴講票 課題「紹介された3つの作品について比較し、感想を述べよ」
講義前に出題した課題の対象資料

資料 No.1



C. モネ「睡蓮」

資料 No.2



M. デュシャン「泉」

資料 No.3

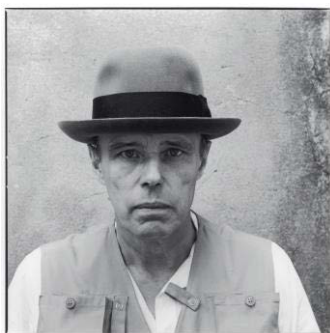


河原温「1984. 11. 9」

■ 当日紹介したレジュメで取り上げた資料等の一部

ヨーゼフ・ボイス：

初期のフルクサスに関わり、パフォーマンスアートの数々を演じ名を馳せたほか、彫刻、ドローイング、インスタレーションなどの作品も数多く残している。脂肪や蜜蝋、フェルト、銅、鉄、玄武岩など素材を使った立体作品を制作した。



ヨーゼフ・ボイス



「私はアメリカが好き、アメリカも私が好き」(1974)



ドローイング

このほか、M.デュシャン、J.コッス、A.キーファー、H.ハーケ、G.ユッカー、河原温などの作家とその作品についてスライドや映像に解説を交え紹介した。